

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

力を合わせ、分かち合い、響き合う「合才の精神」。事業理念は「絶え間なき暮らしの
変革」

売上高
1,500億円

経常利益
45億円

ROE
8%以上

売上高経常利益率
5%以上

② 中長期の経営戦略

1. ICT化による事業価値向上

情報共有の仕組み構築、グループ会社間・取引先との協働、働き方
改革に向けたICT整備

2. 人的資源管理の強化

次世代経営者育成研修、ライフサイクルに合わせた働き方改革、IT
スキル・英語力等の能力開発

3. 小売事業の地域連携強化

全国の良いものを地域へ、地域の良いものを全国へ流通。直営農場
での循環型養豚、「ReVenge」等環境配慮

4. 建設事業の技術力活用

長野県の森林資源を活用した一貫生産、ミャンマー・中国・ベトナムのCADセンター活用、超軽量太陽光システム開発

③ 対処すべき課題

① 経営環境の急速な変化対応

- ・ 原材料価格高騰、円安進行による物価上昇への対応
- ・ 生成AIによる自動化・省力化推進
- ・ 働き方の多様化、労働者属性の多様化への対応

② 事業別の競争激化への対応

- ・ 小売業種・業態を超えた販売競争の激化。信頼構築と新価値創造が必須
- ・ 建設事業の資材価格高騰・調達困難。独自技術力による差別化が重要
- ・ 貿易事業の限られた資源。自然環境とコミュニティへの配慮が必須

③ 長期的な企業価値向上

- ・ 現状のPBR1倍超から1.5倍以上への実現
- ・ 投資家との対話を通じた中長期成長性の理解促進
- ・ 創業500年へ向けた事業ポートフォリオの継続的変革

面接で使えるポイント

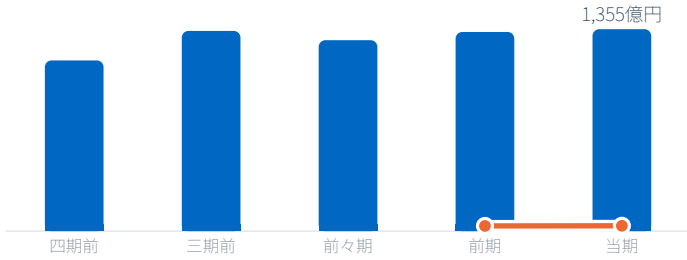
- ・ 420年の信用・信頼を基盤に、地域・環境・グローバルの3柱で新価値を創造する姿勢
- ・ 小売・建設・貿易3事業で1,500億円売上高を目指す2027年3月期の目標達成に向けた取り組み
- ・ 1953年から続く奨学金制度など、SDGs推進企業として子どもの未来と地域活性化に貢献

綿半ホールディングス株式会社

小売業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月末日 | 連結…

証券コード 3199

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,355億円

営業利益率
2.7%

財務健康度
25点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
831万円

小売業内 18位/318社

平均年齢
50.3歳

小売業内 18位/318社

平均勤続
19.23年

小売業内 26位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 信州の味を煮卵で楽しむ 綿半から「やみつきたまご」2商品が新

綿半ホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

